



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日  
東

上場会社名 株式会社ズーム 上場取引所  
 コード番号 6694 URL <https://www.zoom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 工藤 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 山田 達三 (TEL) 03(5297)1001  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,447	17.4	216	—	164	—	△34	—
2025年12月期第1四半期	3,788	△4.8	△58	—	△88	—	△181	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 34百万円( —%) 2025年12月期第1四半期 △416百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△7.89	—
2025年12月期第1四半期	△41.90	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	18,380	7,316	30.0
2025年12月期	18,743	7,420	30.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 5,508百万円 2025年12月期 5,640百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	0.4	650	—	550	—	200	—	46.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期 1 Q	4,594,824株	2025年12月期	4,594,824株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年12月期 1 Q	271,797株	2025年12月期	269,497株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年12月期 1 Q	4,324,418株	2025年12月期 1 Q	4,344,016株
---------------	------------	---------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて底堅い成長となったものの、地域間での景況感のばらつきや、米国の通商政策の動向、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇などを背景に、先行きに対する慎重な見方が継続いたしました。

我が国経済は、雇用・賃金情勢の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、内需を中心に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界経済の下振れが懸念に加え、原材料費や人件費の高騰に伴う物価上昇が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する楽器関連機器業界においては、小売市場の販売不振が継続しており、引続き予断を許さない状況となっております。

このような状況の中、円安・ユーロ高による為替換算の影響に加え、主力カテゴリーであるハンディオーディオレコーダーの販売が回復基調となったこと等により、売上高は前年同期を上回りました。利益面については、増収効果に加え、コスト低減活動の推進等により販売費及び一般管理費が減少した結果、営業利益及び経常利益は前年同期の損失から黒字に転換いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,447,128千円（前年同期比17.4%増）、営業利益は216,006千円（前年同期は営業損失58,263千円）、経常利益は164,424千円（前年同期は経常損失88,112千円）となりました。一方で、海外税務当局による欧州子会社への税務調査に伴い、過年度の付加価値税に関する追徴見込額を特別損失として計上いたしました。この影響により、親会社株主に帰属する四半期純損失は34,114千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失181,994千円）となりました。

なお、米国におけるIEEPA（国際緊急経済権限法）に基づく相互関税の違法判決を受け、米国子会社において還付申請を行っておりますが、現時点では返還金額及び時期共に未定であるため、当第1四半期連結累計期間の業績には還付見込額を計上しておりません。

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。製品カテゴリー別の説明は以下のとおりであります。

#### (ハンディオーディオレコーダー)

ハンディオーディオレコーダーは、廉価版「essentialシリーズ」が旧製品の市場在庫の解消やファームウェアアップデートより販売が回復傾向に転じたことに加え、前期投入した「Studioシリーズ」の新製品効果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は897,351千円（前年同期比59.0%増）と大幅な増収となりました。

#### (デジタルミキサー/マルチトラックレコーダー)

デジタルミキサー/マルチトラックレコーダーは、欧州市場での販売が堅調に推移したことに加え、ユーロ高に伴う為替換算の影響もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は513,276千円（前年同期比11.7%増）となりました。

#### (マルチエフェクター)

マルチエフェクターは、前年同期のMS+シリーズの新製品効果による需要が一巡し、その反動減があったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は304,751千円（前年同期比15.3%減）となりました。

#### (プロフェッショナルフィールドレコーダー)

プロフェッショナルフィールドレコーダーは、2023年以降に新製品の投入はないものの、一部製品の販売価格見直しによる販売施策等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は258,999千円（前年同期比23.5%増）となりました。

#### (ハンディビデオレコーダー)

ハンディビデオレコーダーは、2022年以降は新製品の投入がないこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は93,353千円（前年同期比23.8%減）となりました。

#### (Mogar取扱いブランド)

Mogar取扱いブランドは、現地通貨建てでは前年同期並みであったものの、ユーロ高による為替換算の影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は339,271千円（前年同期比6.5%増）となりました。

(フックアップ取扱いブランド)

フックアップ取扱いブランドは、主要ブランドが引き続き堅調に推移したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は354,386千円(前年同期比1.4%増)となりました。

(Sound Service取扱いブランド)

Sound Service取扱いブランドは、主要ブランドを中心に需要が堅調に推移したことに加え、ユーロ高に伴う為替換算の影響もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,402,183千円(前年同期比24.0%増)となりました。

なお、従来独立したカテゴリーとして記載しておりました「マイクロフォン」「ボイカルプロセッサ」及び「オーディオインターフェース」につきましては、直近の販売実績の推移及び今後の開発計画を鑑み、重要性が低下したことから、前連結会計年度より独立した説明を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ363,386千円減少し、18,380,392千円となりました。これは主に、現金及び預金が355,429千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が438,966千円及び原材料及び貯蔵品が104,103千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ259,459千円減少し、11,063,990千円となりました。これは主に、買掛金が104,502千円及び長期借入金が110,427千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて103,926千円減少し、7,316,401千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失34,114千円を計上したこと及び配当金の支払い138,410千円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.1%に対し、当第1四半期連結会計期間末は30.0%と0.1ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2026年2月16日に公表した「2025年12月期 決算短信」に記載した2026年12月期の連結業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,091,856	3,447,286
受取手形及び売掛金	2,246,647	1,807,680
商品及び製品	7,791,950	7,783,154
原材料及び貯蔵品	810,317	706,213
その他	744,148	686,750
貸倒引当金	△28,578	△27,322
流動資産合計	14,656,341	14,403,762
固定資産		
有形固定資産	1,501,251	1,417,303
無形固定資産		
のれん	1,891,533	1,810,512
その他	66,237	61,501
無形固定資産合計	1,957,770	1,872,014
投資その他の資産		
繰延税金資産	287,556	284,041
その他	340,858	403,269
投資その他の資産合計	628,414	687,311
固定資産合計	4,087,436	3,976,629
資産合計	18,743,778	18,380,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,488,567	1,384,064
短期借入金	4,852,990	5,013,548
1年内返済予定の長期借入金	474,891	458,212
リース債務	113,652	106,943
未払法人税等	11,576	9,446
賞与引当金	38,894	77,789
製品保証引当金	43,153	40,309
その他	1,091,062	917,495
流動負債合計	8,114,787	8,007,808
固定負債		
長期借入金	2,042,075	1,931,647
リース債務	928,117	897,421
退職給付に係る負債	188,037	180,637
その他	50,432	46,475
固定負債合計	3,208,662	3,056,182
負債合計	11,323,450	11,063,990
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,276	212,276
資本剰余金	261,838	261,838
利益剰余金	3,333,817	3,161,292
自己株式	△282,972	△282,972
株主資本合計	3,524,959	3,352,434
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,113,424	2,153,540
退職給付に係る調整累計額	2,608	2,696
その他の包括利益累計額合計	2,116,033	2,156,236
非支配株主持分	1,779,335	1,807,730
純資産合計	7,420,327	7,316,401
負債純資産合計	18,743,778	18,380,392

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	3,788,779	4,447,128
売上原価	2,317,663	2,717,214
売上総利益	1,471,115	1,729,914
販売費及び一般管理費	1,529,379	1,513,908
営業利益又は営業損失(△)	△58,263	216,006
営業外収益		
受取利息	10,487	10,665
その他	2,155	4,995
営業外収益合計	12,642	15,660
営業外費用		
支払利息	30,551	29,062
為替差損	10,740	35,948
その他	1,199	2,232
営業外費用合計	42,491	67,242
経常利益又は経常損失(△)	△88,112	164,424
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事業構造改善費用	—	4,000
過年度付加価値税等	—	119,491
特別損失合計	0	123,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88,112	40,932
法人税等	40,191	37,757
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△128,303	3,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	53,690	37,289
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△181,994	△34,114

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△128,303	3,174
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△288,544	31,137
退職給付に係る調整額	186	172
その他の包括利益合計	△288,358	31,309
四半期包括利益	△416,662	34,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△446,568	6,089
非支配株主に係る四半期包括利益	29,906	28,394

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社グループは音楽用電子機器事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	85,379 千円	87,264 千円
のれんの償却額	116,323 "	71,716 "